



日本液体運輸株式会社



NICHIEKI

Nippon Liquid Transportation Co.,Ltd.

Mission

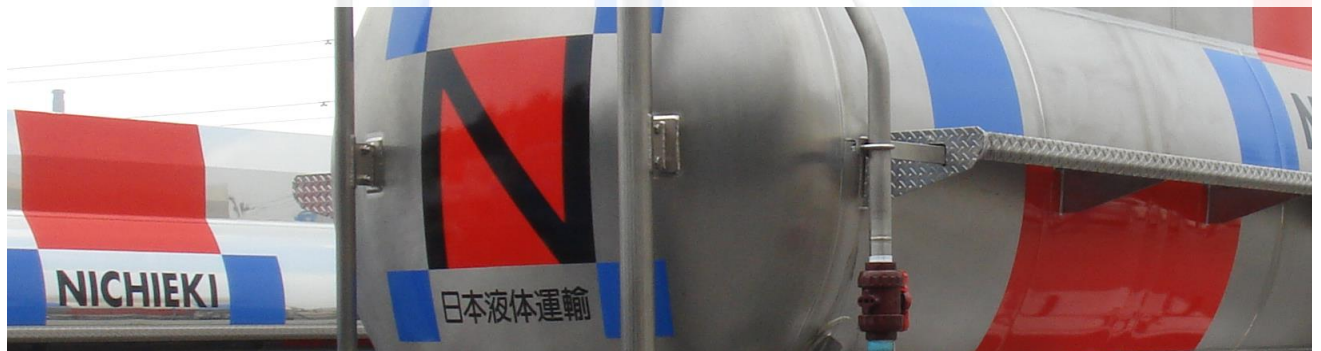
絶えず『最適輸送』をデザインする。

日本液体運輸は、常に安全・確実・迅速な輸送を心がけ、ユーザーの皆様一人ひとりに、最適な輸送システムを提供します。また、私たちは更に環境対応を重視した輸送を心がけ、社会と共存する最適な輸送システムを創造します。

当社は、1948年(昭和23年)創業以来今日まで、液体輸送全般にわたる専門物流業者として、化学品を主とする多種多様な液体の輸送事業、タンク並びに特装車輛の設計製造、物流コンサルティングサービスの提供等、業務の拡大に努めてまいりました。

私ども日本液体運輸は、荷主の皆様の多様化・高度化する輸送ニーズに適時適切に対応するため、安全・確実・迅速な輸送をモットーに、従来にも増して輸送技術の研究開発に力を入れ、プロの人材育成を強化し、さらなるサービスの向上に努めたいと思います。

代表取締役 巽 大輔



「ニチエキ」の愛称で液体専門物流業で親しまれ、液体輸送に尽力してきた当社。輸送事業の公共性、とりわけ液体輸送に課せられた社会的責任を自覚して、日々の安全管理を何よりも優先し、ユーザーの期待、社会の信頼に応えるため、ニチエキの経営理念・品質方針を掲げ、全力を尽くす所存です。

■経営理念

環境対策を重視した安全・確実・迅速な輸送サービスを心掛け最適な輸送システムを創造します。

■品質方針

お客様の基本的なニーズと期待を十分に満たした付加価値の高い輸送サービスを提供し、広く社会に満足と信頼をいただく。

私たちは毎日、輸送という無形のサービスを取扱っています。この、目に見えないサービスの品質向上をはかるため、「ユーザーの基本的なニーズにしっかり応えること」「付加価値の高い輸送サービスを目指すこと」、そして「広く社会に信頼されること」の3点を経営方針として掲げています。

●ユーザーの基本的なニーズにしっかり応えること

お客さまの満足にとって不可欠な安全性・確実性・迅速性。この基本3条をしっかり遵守します。

●付加価値の高い輸送サービスを目指すこと

輸送技術やコスト面はもとより、他社にないプラスアルファがあること。ニチエキならではの付加価値の高い輸送サービスの現実を目指します。

●広く社会に信頼されること

液体輸送事業の社会的責任の大きさを自覚して、広く社会全体にとって有効な輸送システムを創造し、これをもって社会の信頼に応えます。

Corporate Profile 1

概要

設立	1948年(昭和23年)11月
資本金	40,000,000円
営業種目	一般貨物自動車運送事業 貨物運送取扱事業 特装車等の設計・製造・販売業 自動車分解整備事業 倉庫業・各種貨物の梱包・ 荷造の請負及び小運搬業 自動車・物流機器のリース事業 産業廃棄物の処理並びに収集・運搬業 試薬・化学薬品・工業薬品の製造・販売 合成樹脂の原料・製品の販売 理化学・工業用機械・器具の販売 これらに付帯する一切の事業
役員	代表取締役会長 巽 俊 代表取締役社長 巽 大輔 常務取締役 小泉 真澄 取締役 西山 繁 監査役 巽 えり
従業員数	179名 (2024年 4月現在)
車両数	タンクローリー 128両 トラクター 44両 セミトレーラー 35両 コンテナシャーシ 10両 コンテナタンク 17基 (2024年 4月現在)
主な株主	巽 俊 巽 えり 巽 大輔

取引銀行	みずほ銀行	日本橋支店
	三菱UFJ銀行	神田駅前支店
	三井住友銀行	丸の内支店
	りそな銀行	室町支店
	東日本銀行	本店
	商工組合中央金庫	本店
	日本政策金融公庫	東京支店
	きらぼし銀行	茅場町支店
	阿波銀行	東京支店

沿革

1948年(昭23)11月	日東興業株式会社として設立
1949年(昭24)11月	日本液体運輸株式会社に社名変更
1950年(昭.25) 7月	特定貨物自動車運送事業の免許
1955年(昭.30)12月	東京支店 品川営業所開設
1959年(昭34) 9月	一般区域貨物自動車運送事業の免許
1960年(昭35)3月	東京支店 赤羽営業所開設
1968年(昭43)1月	千葉支店 千葉営業所開設
1961年(昭36)7月	鹿島支店 鹿島営業所開設
1970年(昭45) 7月	特装車等の設計・製造・販売業の開始
1973年(昭48)2月	東京支店 足立営業所開設 (赤羽営業所を統合)
1977年(昭52) 3月	自動車運送取扱事業の登録
1983年(昭58)3月	東京支店 船橋営業所開設 (品川営業所・足立営業所を統合)
1986年(昭61)12月	自動車・物流機器のリース事業の開始
1990年(平2)12月	一般貨物自動車運送事業の許可 第一種利用運送事業の許可
1993年(平5)11月	新コーポレートマーク・カラーの制定
2009年(平21) 10月	QR認証システム(誤納入防止)運用開始
2011年(平23) 12月	全営業所の安全性優良事業所認定
2018年(平30) 11月	創立70周年
2020年(令2) 11月	本社を中央区日本橋室町へ移転

収集運搬事業許可地域(特別管理産業廃棄物)

茨城県	埼玉県	千葉県	福島県
東京都	神奈川県	石川県	富山市
岩手県	大阪府		

産業廃棄物の種類 (廃アルカリ・廃酸)

Corporate Profile 2

■ 本社・事業所及び所在地

◎ 本社

車輛開発部・営業開発部
管理部・安全品質管理室

東京都中央区日本橋室町一丁目11番10号
〒103-0022

Tel.03-3270-5481(代表) Fax.03-3270-9680

◎ 運輸部門

東京支店船橋営業所 千葉県船橋市栄町1丁目27番6号 〒273-0018
Tel.047-434-3721(代表) Fax.047-434-3791

千葉支店千葉営業所 千葉市原市五井南海岸40番1号 〒290-0045
Tel.0436-21-5501(代表) Fax.0436-23-0164

千葉出荷センター 千葉市原市五井海岸10番地
AGC(株)千葉工場内 〒290-0058
Tel.0436-21-8089(代表) Fax.0436-23-2215

鹿島支店鹿島営業所 茨城県神栖市奥野谷7586番2 〒314-0116
Tel.0299-96-5881(代表) Fax.0299-96-4176

鹿島出荷センター 茨城県神栖市東和田6717番地
AGC(株)鹿島工場内 〒314-0102
Tel.0299-96-2768(代表) Fax.0299-96-9025

◎ 協力工場

(有)東田鉄工 兵庫県尼崎市大浜町1丁目34番地
〒660-0095 Tel.06-418-2511

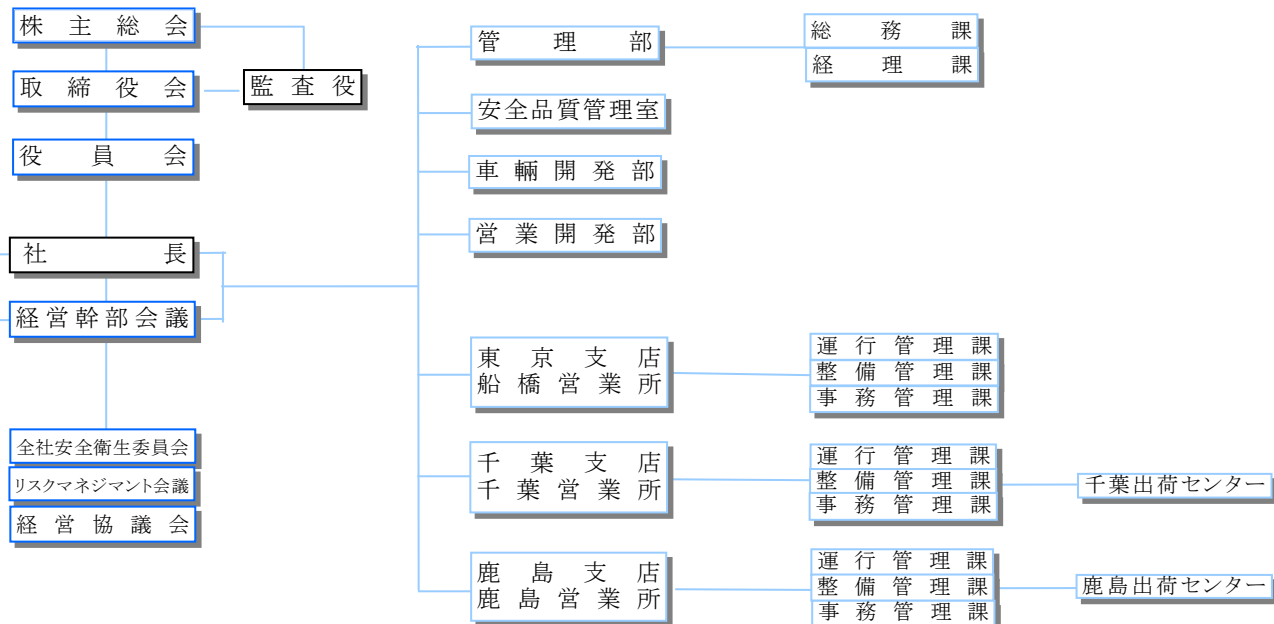
(株)麻生鉄工所 東京都江東区東砂1丁目6番10号
〒136-0074 Tel.03-3644-4268

旭自動車ボデー(株) 埼玉県草加市弁天3丁目2番1号
〒340-0004 Tel.048-936-0700

田中自動車(株) 千葉市原市松ヶ島西1丁目1番41号
〒290-0036 Tel.0436-22-2505

(株)助川自動車工業 茨城県神栖市知手3022番地
〒314-0115 Tel.0299-96-4615

■ 組織図



Social Responsibility

『安全』と『責任』を運んでいます。

輸送貨物のほとんどは、毒劇物及び危険物です。だからこそ、ユーザーの皆様安心していただけるよう、「安全」を最優先に輸送技術の開発に力を注ぐとともに、社員一人ひとりに徹底した安全教育を行っております。また、「環境と共生できる輸送のありかた」を絶えず研究し、環境に最も適した輸送システムを創造・提供します。



■安全教育
社会的責任の大きさを自覚させ
安全輸送のプロを育成しています

製品ごとの特性や危険性
荷卸しの原理等を教育。

■アルコールチェック
出勤・退勤時に測定し
飲酒運転撲滅に努め
ています。



■デジタルタコグラフ・ドライブレコーダー
全車輻に装着し安全運行に取り組んでいます。



■QRコード認証システム



「荷主様からお預かりした製品を安全・確実・迅速に、お客様へお届けする」これは私共の使命です。ニチエキは、荷主様からお預かりしたバトンをお客様に**確実**にお届けするランナーなのです。ある事故体験から学び、荷主様からお預かりした製品を**確実**にお届けするシステムを研究し開発しました。お客様の製品受入れ先と、当社の車輻に積載している製品情報を照合、合致しない場合は、製品を荷卸しできないシステムを構築。このQRコード認証システムで、誤納事故防止に努めています。

Section Profile

運輸部門

多様な輸送ニーズに常に対応する。

液体輸送の豊富な実績とノウハウを活かしつつ最先端の技術・システム開発をもって、ますます高度化・複雑化するユーザーの輸送ニーズにフルラインでお応えします。

硫酸、塩酸、硝酸、苛性ソーダ、次亜塩素酸ソーダ、塩化カルシウム、過酸化水素、液化炭酸、液化塩素、液化アンモニウム、水酸化マグネシウム・・・など、多種多様な液体輸送をカバーする東京支店・船橋営業所、千葉支店・千葉営業所、鹿島支店・鹿島営業所。

また、幅広い協力会社の輸送体系網を構築、産業廃棄物の収集運搬、設置タンクからの抜き取り作業等にも対応出来る体制も整えております。



千葉支店・千葉営業所



東京支店・船橋営業所



鹿島支店・鹿島営業所

- SS製タンクローリー ■ SUS304製タンクローリー ■ SUS316L製タンクローリー ■ チタン製タンクローリー ■ FRP製タンクローリー
- ゴムライニング製タンクローリー ■ FRPライニング製タンクローリー ■ テフロンライニング製タンクローリー
- 圧送式タンクローリー ■ バキューム式タンクローリー ■ ギャポン式タンクローリー
- SS製タンクトレーラー ■ SUS304製タンクトレーラー ■ チタン製タンクトレーラー ■ FRP製タンクトレーラー
- ゴムライニング製タンクトレーラー ■ さまざまなタイプの車輛をフルラインナップ。

多彩な車輛を揃えてユーザーのニーズにお応えします。

Section Profile

車輛開発部

輸送体験から学んだタンクローリーの原型。

1970年(昭和45年)7月、特装車等の設計・製造・販売業を開始。当時、3人で当セクションを立ち上げ、始動しました。タンクローリーが誕生する前から、車輛整備士と運転手とで日々研究開発に取り組んでおりました。試作に次ぐ試作、度重なる改良、そして試行錯誤の末、誕生したタンクローリーの原型。ここが当セクションの原点であり、ここから歴史が始まりました。

自社で運行する車輛を製作することで実績を積み重ね、膨大なノウハウを獲得。

あらゆる条件が求められる液体輸送車輛。安全性／耐久性／経済性／使いやすさ／デザイン…アタマで車輛をシタてる。その積み重ねがパワーになり、多彩なタンクローリー、タンクトレーラーを誕生させています。



濃硫酸用SS製タンクローリー



次亜塩素酸ソーダ用チタン製タンクローリー



廃酸用FRP製バキュームローリー



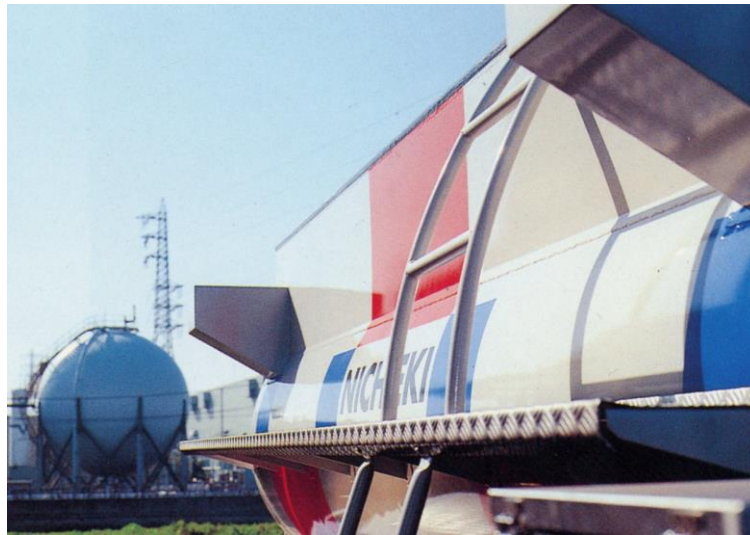
硫酸用テフロン焼付ライニング製タンクローリー

■回転成形によるタンク内、ETFE-1.5mm以上のライニング(リチルライニング)。実績では、2mm以上のライニングが可能です。焼付ですのでライニング面全て平滑でキレイ。

- 左上の写真:タンク内液溜まり
- 左下の写真:ノズル部フランジ面
- 右下の写真:配管等



■SS、SUS304、SUS304L、SUS316、SUS316L、特殊金属、FRP、FRP/PVC、ゴムライニング、FRPライニング、テフロンライニング(シート、焼付)…、多彩な実績から、ユーザーのニーズにお応えします。



<https://www.nichi-eki.co.jp/>

日本液体運輸株式会社

■ 本 社 ■

車輛開発部・営業開発部
管理部・安全品質管理室

東京都中央区日本橋室町1-11-10 Kamayaビル5F 〒103-0022
【TEL】03-3270-5481 【FAX】03-3270-9680

■ 運輸部門 ■

東京支店船橋営業所

千葉県船橋市栄町1-27-6 〒273-0018

【TEL】047-434-3721 【FAX】047-434-3791

千葉支店千葉営業所

千葉県市原市五井南海岸40-1 〒290-0045

【TEL】0436-21-5501 【FAX】0436-23-0164

千葉出荷センター

千葉県市原市五井海岸10 A G C(株)千葉工場内 〒290-0058

【TEL】0436-21-8089 【FAX】0436-23-2215

鹿島支店鹿島営業所

茨城県神栖市奥野谷7586-2 〒314-0116

【TEL】0299-96-5881 【FAX】0299-96-4176

鹿島出荷センター

茨城県神栖市東和田6717 A G C(株)鹿島工場内 〒314-0102

【TEL】0299-96-2768 【FAX】0299-96-9025